

(2) 福島県教育委員会指定

① 目的

県立学校における各教科の学習指導、進路指導、生徒指導、特殊教育、教育機器の活用等に関する実践的な研究を行い、その成果をひろく県内各県立学校等に普及させ、本県県立学校における教育諸活動の充実向上に資することを目的とする。

② 研究分野・学校名・研究主題・研究期間等

研究分野	学校名	研究主題	研究期間
教科指導	社会 県立安積高校	日本史において、文化を総合的に考察させる学習指導をどのように進めたらよいか。	49～50年度
	数学 県立双葉高校	数Ⅰ関数と数ⅡB微分積分を関連させた効果的な指導法について	50～51年度
	英語 県立福島農蚕高校	英語Aにおける聞く能力、話す能力を養う指導について	49～50年度
	美術 県立田島高校	デザインにおける発想の助長と制作意欲を高揚させるために	49～50年度
	工業 県立塙工業高校	電子科における情報技術教育	49～50年度
進路指導	県立平工業高校	職業観を確立し、進路を選択させるための情報の活用	49～50年度
生徒指導	県立若松商業高校	余暇行動の指導はどうあるべきか	50～51年度
	県立平商業高校	本校生の生活実態とその指導——とくに基本的な生活習慣の確立について——	50～51年度
教育機器	県立小野高校	視聴覚機器の特質を学習指導にどのように活用できるか。	49～50年度
特殊教育	県立聾学校	思考力を高めるための指導はどうしたらよいか	49～50年度

県 大信村立信夫第一小学校

④ 期 日 地区 各地区ごとに実施

県 昭和50年10月7日～8日

(2) 中学校教育研究会道德部会

① 研究主題

「豊かな人間形成を図るための道德教育」

② 主 催

県教育委員会、県中学校教育研究会、関係市町村教育委員会

③ 会 場 各地区ごとに設定(16会場)

県 小高町立小高中学校

④ 期 日 地区 各地区ごとに実施

県 10月22日～23日

(3) 昭和50年度道德教育講習会

① 趣 旨

小学校、中学校における道德教育の充実、指導の徹底を期するため、道德教育における基本的な問題及び指導上の諸問題を解明し、教職員の資質の向上を図る。

② 主 催 文部省、県教育委員会

③ 主 題

- 道德教育の全体計画の必要性
- 道德の年間指導計画の改善
- 道德の授業過程と指導方法
- 資料の選択、収集、整備と活用
- その他、地区の実情に即した主題

④ 会 場 県内16地区ごとに設定

⑤ 期 日 各地区ごとに実施、期間は3日間

⑥ 参加者数 小学校 707名

中学校 310名

(4) 道德教育研究学校

文部省の道德教育研究学校として地域指定の方式が本年度から実施された。指定期間は従来通り2か年間である。

管内	地区名	学校名	校長名	研究主題
県中	常葉地区	常葉町立常葉小学校	佐藤 光一	一人一人の実践意欲を高める道德指導
		西向小学校	深谷喜三郎	
		関本小学校	角田 謙三	
		山根小学校	岩田 光親	
		常葉中学校	渡辺一三郎	
いわき	いわき地区	いわき市立上遠野小学校	小宅 博	道德的心情を深め、実践意欲を高める道德教育
		入遠野小学校	秋山 芳郎	
		上遠野中学校	猪狩 福秀	
		入遠野中学校	熊谷 文彦	

## 第5節 道德教育・生徒指導

### 1 道 德 教 育

各学校並びに関係機関の努力によって、学校の全教育活動をとおして行われる道德教育及び道德の時間の指導が充実の度を加えつつある。

また、昭和39年以来実施されてきた文部省指定による研究学校の方式が、今年度より地域指定の方式に改められた。この11年間、道德教育研究指定校を中心とする実践研究は、優れた実績をおさめ本県道德教育の推進に多大の貢献をしてきた。

(1) 小学校教育研究会道德部会

① 研究主題

「道德性を高めるための授業の組織化を、どのようにすればよいか」

② 主 催

県教育委員会、県小学校教育研究会、関係市町村教育委員会

③ 会 場 地区 各地区ごとに設定(16会場)

### 2 生 徒 指 導

#### 〔義務教育課〕

生徒指導は、すべての児童・生徒を対象とし、一人一人の人格の価値を尊重し、個性・能力の伸長を図りながら、同時に社会的・国民的な資質や行動を高めることを目的として、次の諸点に重点をおいて指導した。